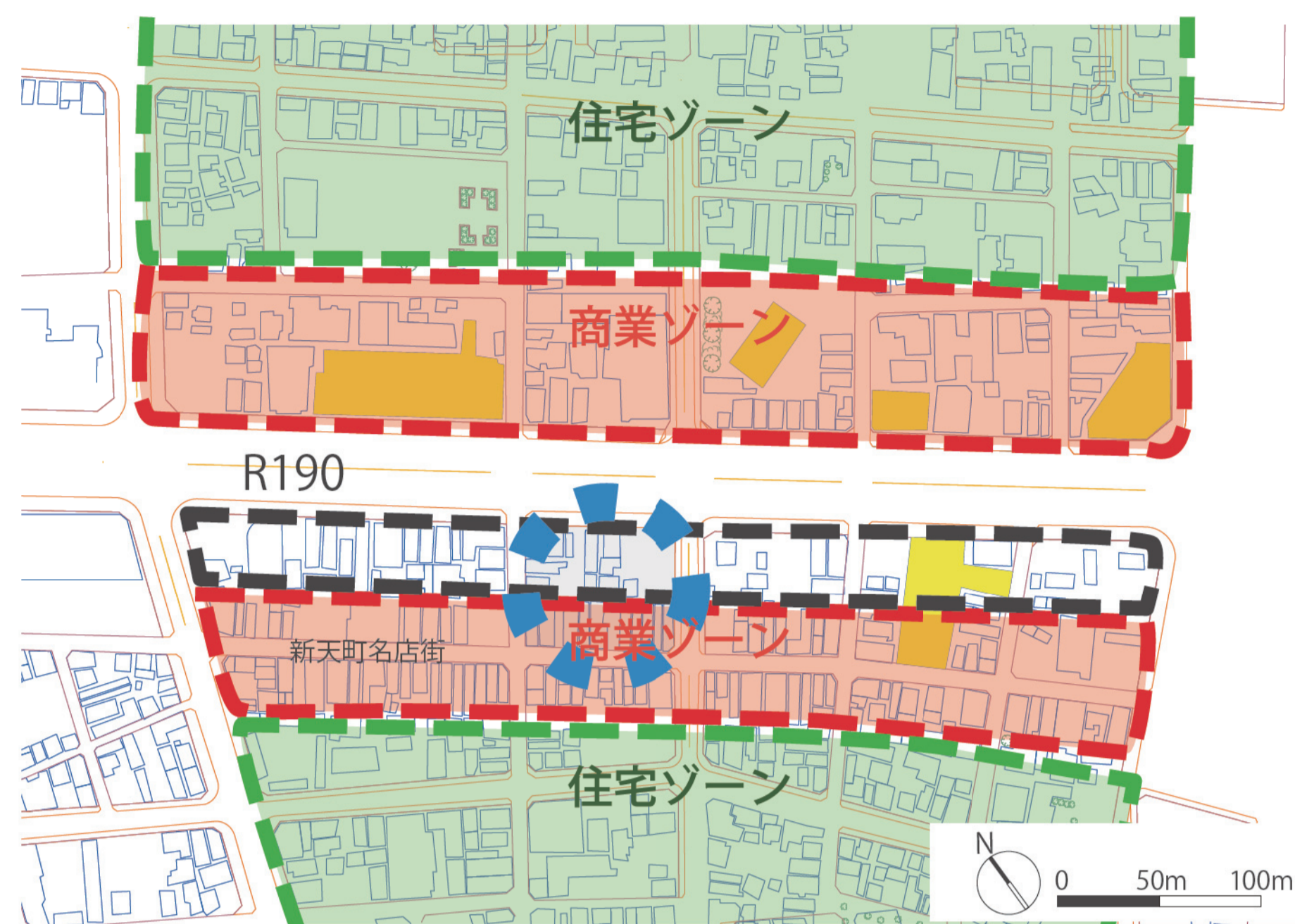


えびす街区再生構想 ~出逢いに会える路地~

関西大学 出町 慎
九州大学 姜 耐
日本大学 佐藤 宣
山口大学 山村 章
日本女子大学 照林 太
悠

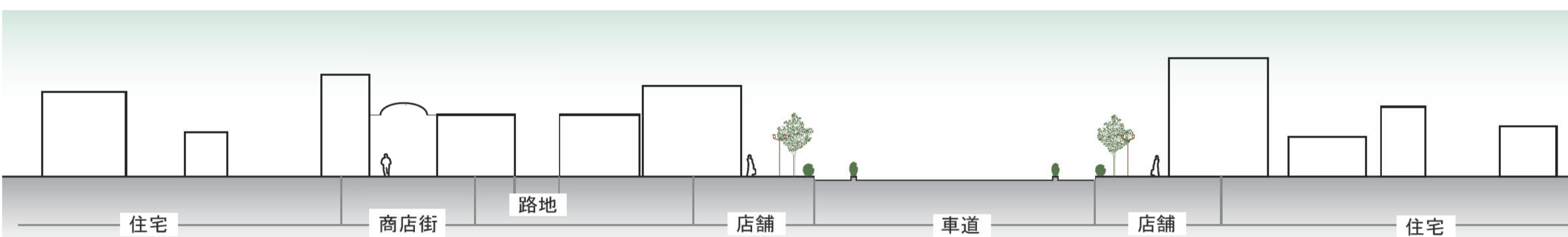
program 01

提案の背景および対象地区の調査分析



E B I S U 街区
住宅と商業に挟まれたゾーン
集客力のある施設が点在
周辺の街区に対して際立つ路地空間
人がとどまれる空間の欠如
空地が多く特徴付けされていない街区
通過交通が多い

潜在能力の
高い街区



路地空間の魅力・課題

路地空間の魅力

- ① 周辺の街路との空間的、感性的なギャップ
- ② 住民の隠れ家となりうる空間構成
- ③ 路地空間で生活する人の生活がにじみ出る雰囲気
- ④ 路地空間によって様々な人やモノ、シーンに出会える



路地空間の課題

- ① 建物の老朽化
- ② 木造密集地帯であるための防災面
- ③ 多くの空き店舗が存在していること

路地空間の喪失が
懸念される

コンセプト

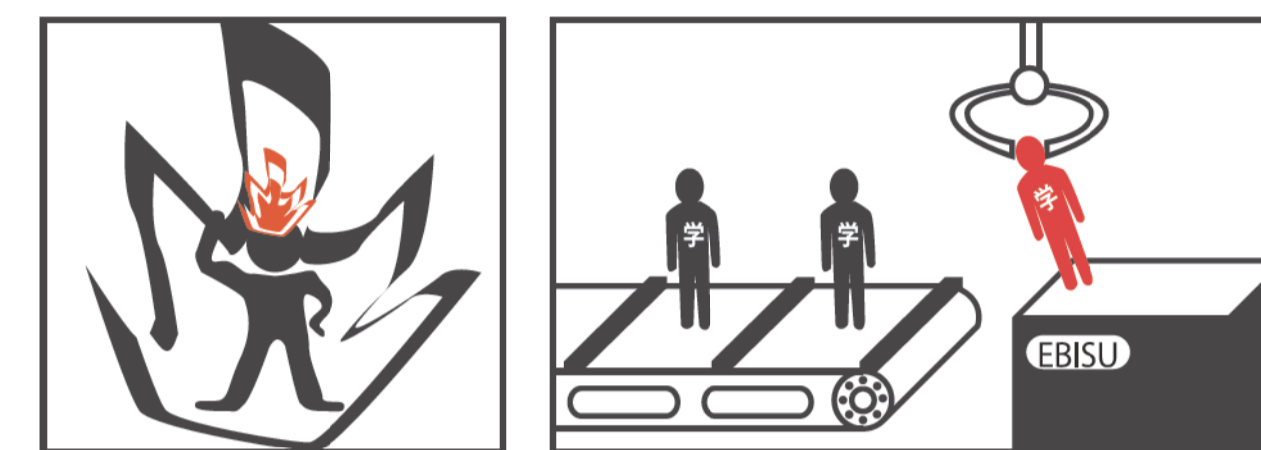
- (1) 路地空間の魅力をおぼす
- (2) 人がとどまれる空間の創出

出逢いに会える路地

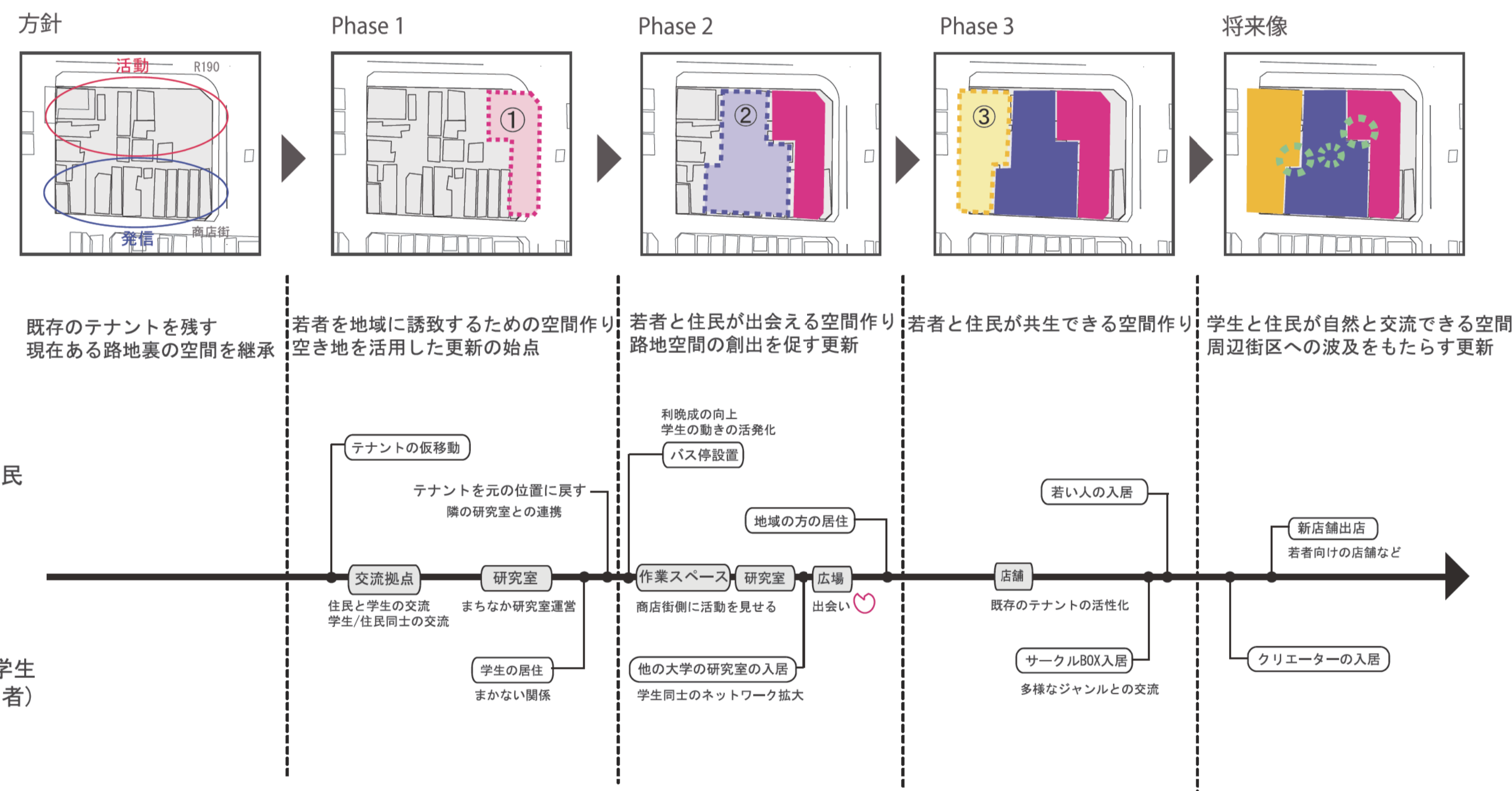
路地の持続可能性

路地空間の持続を図るため、えびす街区に大学生や大学の研究室を誘致していく。大学生を持続可能なキーワードとして挙げる理由は以下の2点である。

- (1) 若者ならではの活力があり、地域に好影響を与える
- (2) 毎年新入生が入ることで使用者を維持できる



更新プロセス



路地デザインダイアグラム

